

# 農縁だより

沼田市の農業をもっと身近に！



第5号

令和6年3月1日

編集・発行 沼田市農業委員会事務局  
沼田市下之町888 Tel.0278-23-2111

## 『ぬまた農縁』参加者募集!!

## ～お芋ほくほく 出会いもほくほく～

ぬまた農縁で、出会いを作りますか？  
沼田市農業委員会は、農業体験などを通して出会いのきっかけを作ることを目的とした「ぬまた農縁」を開催しています。今年、サブタイトルにもあるように「さつまいも」をメインに農業体験や餅つきなどを企画しています。

今年のぬまた農縁ではこんなことをやります！

第1回 令和6年6月15日(土) 10:00～13:30  
体験内容: 芋植え・そば打ち・足湯

第2回 令和6年10月5日(土) 10:00～13:30  
体験内容: 芋掘り・芋つるでリース作り

第3回 令和7年2月22日(土) 10:00～13:30  
体験内容: 焼き芋・餅つき

### 参加の対象者

- ・20代、30代、40代、50代の独身の方
- ・沼田市の農業者
- ・農業に従事している、または農業に興味のある方

※参加費は回ごとに集めます。↓↓応募はこちらから↓↓

申し込みフォーム(右のQRコード)

または電話にてお申し込みください。

TEL: 0278-23-2111(内線5018)

※詳細は農業委員会ホームページ、インスタグラムにてお知らせします。



R5.りんご収穫体験の様子



<https://logoform.jp/f/ezm4i>

## ～農業委員会 リレートーク～

リレートーク3人目は、小林喜久代さんです。  
白沢町で乾燥芋作りをしています。

今年度より、農業委員としてお世話になっております。まだまだ私にとって場違いな所に来てしまったようではありますが、事務局・仲間の委員の方々や女性委員の方々に支えられながら日々過ごしております。

私は「ピコファーム」という名で乾燥芋作りなどを行っています。

白沢保育園の芋掘り体験も6年目がすぎ、本年度の干し芋作りも終わろうとしています。

農業委員の活動も楽しみながら、農業の問題点などに関わっていければと思っております。

よろしくお願いたします。

(農業委員 小林 喜久代)



芋掘り体験の様子

# 農業委員からのワンポイントアドバイス STOP!農作業事故

新シリーズ!!

春が近づき、暖かくなってきました。動物や植物もいきいきしてきましたね。そんな春は、農作業が始まる季節です。日頃から農作業に励む農家の方々に「安全に作業をしてほしい」という思いから、少しでも農作業事故を減らせるよう、農機具の点検などについてアドバイスをしたいと思います。まずは、1番事故の多い「草刈り機」についてです。毎日笑顔で、安全運転願います！  
(農業委員 富沢 誠司)



## 「草刈り機編」

### ①刈り刃周りの点検

刈り刃が摩耗すると草が絡まりやすくなります。石が多い畦畔などでは**自身にチップソーのチップが飛来する危険がある**ので刈り刃ガードの調整をしましょう。



★★ランクアップメモ★★  
ゴーグルやすね当てを付けると、より安全に作業ができます。

※半時計回しに回すと締まります。

刈り刃の止めネジは**逆ネジ**です。注意して交換してください。ギヤボックスの**脇ネジ**を外して手で回しながらスプレーグリスを給脂してください。



### ②ハンドル周りの点検

アクセルレバー(**赤丸**)中央のネジのゆるみを確認しましょう。**ワイヤーが渋かったりすると回転が上がったままで危険**です。ワイヤーのズレが多いとエンジン回転が不安定になる事があります。



★★ランクアップメモ★★  
分割ハンドル(**青丸**)では、左右の角度を調整すると、傾斜での作業が楽になります！



### ③エンジン周りの点検

点火プラグを外してブラシで清掃します。**きつね色が絶好調のサイン**です。



プライマーの劣化状態を目視で確認しましょう。**少し押しして硬さのチェックも忘れずに**。燃料がキャブレターに吸い込まれるまでプライマーを何度も押します。戻りが悪いようならダイヤフラムの劣化など燃料ラインの部品交換が必要になる場合があります。



# 春山明子の野生動物被害対策コラム「③トウモロコシの被害対策」

こんにちは。私は野生動物による被害対策の仕事をしている株式会社群馬野生動物事務所の春山明子です。3回目の今回は、もうすぐ準備が始まるトウモロコシ栽培の野生動物対策として、皆さんに知っていただきたい被害防止対策をまとめてみました。

トウモロコシは、夏に収穫される農作物の中でも、特にクマやサルなどの野生動物の被害が多い作物です。その理由は、**トウモロコシが高い糖度や栄養価を持ち、強い香りを発するから**です。また、夏は野生動物が好む実のなる自然の餌が少なくなる時期でもあり、野生動物は里にある農作物を求めて出没することが多くなります。そのため、トウモロコシ栽培においては、被害対策を十分におこなうことが重要です。被害対策の方法は、出没する野生動物の種類や栽培する環境によって異なりますが、一般的には以下のようなものがあります。

<クマ対策> **電気柵**を設置する。電気柵はクマの侵入を防ぐ効果が高いですが、設置方法に注意が必要です。クマは**電気柵の下をくぐって侵入することが多い**ため、**最下段のワイヤーは地面から15cmに設置し、2～4段目は20cm間隔で設置**します。また、電圧は6000V以上に保ちます。

<中型動物対策> **ネット**で囲う。トウモロコシの畝をネットで囲うことで、タヌキやハクビシンなどの中型動物の侵入を防ぐことができます。そのため、ネットを設置する際には、トウモロコシの苗や種を植えた畝の周りに、**十分なスペースを確保する必要があります**。また、**地際からネットの下をくぐって侵入することが多い**ため、**地際は杭やおもりなどでしっかりと固定**します。

<サル対策> **栽培する場所**を選ぶ。サルは運動能力が高く、柵やネットなどで侵入を防ぐことが難しいです。そのため、**サルが出没しにくい林縁から離れた畑や、サル群の行動範囲外で栽培**することで被害が発生する確率が格段に低くなります。

紹介した対策は、トウモロコシ栽培における野生動物被害対策の代表的な方法です。これらの被害対策を実践することで、美味しいトウモロコシを栽培していただければと思います。

## 今こそ力を合わせよう！

1月10日水曜日、群馬会館で「ぐんま農村男女(ともに)輝くフェスティバル」が開催されました。この講演会では、農業の活性化に貢献した女性への表彰・学校法人昭和女子大学総長の板東眞理子さんの講演が行われ、多くの女性農業委員や推進委員の方が参加されました。板東さんの講演では、「**女性が定住しない地域は消滅していくという**データがある。今こそ女性がリーダーとなり、人が定住する地域を作る必要がある。」と語っていました。現在、日本の自然や古民家などは都会に住む人や外国人からも人気です。また、農地で耕作体験や古民家での宿泊など、農村は魅力だらけです。女性自身も活発的に活動をし、地域全体で農業を盛り上げていきましょう！

### 活動のキーワード



会場 群馬会館のホール

## 家族経営協定について

日本では家族単位で農業に取り組むことが一般的です。家族だからこそ良い点がたくさんありますが、経営と生活の境目が明確ではなく、役割分担や労働時間、報酬などの就業条件があいまいになりやすく、そこから不満やストレスが生まれがちです。そこで『家族経営協定』の出番となります。

『家族経営協定』とは、**家族内の話し合い運動**です。家族農業経営に関わる各世帯員が意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき締結する協定のことです。

家族構成員の1人1人が農業に意欲的に取り組むとともに、農業経営の発展の方向を明確にしていくためには、家族内の話し合いが基本となります。さらに、**第三者を加えて話し合いをすると、客観的な視点での話し合いをすることが**できます。

また、その話し合いの成果を活かす取り組みが必要です。男女がともに、各世代がともに、対等な立場で話し合いを進め、農業経営や暮らしの現状確認を出発点とし、それぞれの立場や就業条件の明確化、経営計画や生活設計の樹立等を図り、家族全体や個々人の夢を実現させていくために『家族経営協定』は必要なのです。

大切な家族を守るため、農業経営をやりがいのあるものにしていくために、家族同士で今一度話し合ってみてはいかがでしょうか？

## 農林課からのお知らせ

農村整備係から  
～多面的機能支払交付金について～

「多面的機能支払交付金」は、農業者と地域住民が農地、水路、農道などの地域資源を共同活動で保全管理している活動組織に交付金を交付する制度です。

地域の共同活動を通じて、農業・農村の有する多面的機能が維持・発揮されるとともに、担い手農家へ集中する作業負担を地域ぐるみで軽減し、農業の構造改革を後押しします。

また、多面的機能支払交付金制度は、「農地維持支払」と「資源向上支払」に区分されます。

## 1. 農地維持支払

農業者等による組織が取り組む農地周りや水路・農道の草刈りや堀浚いなどの多面的機能を支える共同活動を支援します。



水路周りの草刈り



獣害防護フェンス設置

## 2. 資源向上支払

地域住民を含む組織が取り組む水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成など農村環境の良好な保全を始めとする共同活動や水路などの補修、更新による長寿命化のための活動を支援します。

沼田市では現在41組織が多面的機能支払交付金を活用して活動に取り組んでいます。

## 有害鳥獣対策センターから

## ～沼田市情報配信サービス「ホッとメールぬまた」の登録について～

市では防災・防犯情報やクマの出没情報などを、登録されたパソコンや携帯電話のメールアドレスにメール配信をするサービスを行っています。

## 【登録方法】

▽パソコン <https://plus.sugumail.com/usr/numata/home>

▽携帯電話 t-numata@sg-m.jp へ空メール送信

※右のQRコードからも登録できます。



## 農業委員会からのお知らせ

○耕作できない土地を所有していて、お困りではありませんか？

「相続で農地を取得したけど自分では耕作できない。」 「高齢だから耕作できない。」 「後継者がいない。」 など、様々な理由で耕作・維持管理のできない農地を所有している方は多くいます。

沼田市農業委員会事務局では、そういった農地の相談を受けた際に、農業委員や農地利用最適化推進委員に声をかけて、相談者の希望に添って代わりに耕作してくれる人や借りる又は買ってくれる人をお探しするような取り組みをしています。

耕作できずに困っている方は沼田市農業委員会事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

## ○地域計画

現在、農地所有者の意向調査アンケートを実施しております。お手元に届きましたら、ぜひご回答をお願いいたします。

※ホームページのお問い合わせフォームまたはお電話にてお問い合わせください。

TEL:0278-23-2111(内線5018)

## 編集後記

今回は、今年度最後の農縁だよりとなります。様々なシリーズも始まり、作成しながら勉強になるものばかりです。皆様のおかげで最後まで発行することができました。ありがとうございました。

来年度の農縁だよりもお楽しみに！ 農業委員会事務局 石坂 万陽

